外国語科

I フランス語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II フランス語の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	開講しない	開講しない
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な会話をできるようにする。 ・フランス語の仕組みを理解する。 ・フランスの基本情報、フランス語の歴史、フランス語圏、フランス文化について学習し、他との共通点や違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの学習 ・聞き取り練習 ・寸劇の作成と発表 ・文法の演習 ・筆記体でグリーティングカードの作成 ・絵本の翻訳 ・フランスのゲーム、歌、アニメ
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話をできるようにする。 ・フランス語の仕組みに対する理解を深める。 ・フランスの歴史や文化について学習し、他との共通点や違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの学習 ・聞き取り練習 ・寸劇の作成と発表 ・文法や仏検の演習（希望者は仏検受験） ・児童書の翻訳 ・フランスの映画
高校段階	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・初中級レベルの読解や仏作文をできるようにする。 ・旅行や留学で使える会話表現を増やす。 ・フランス文化について学習し、自ら考えて表現する能力と態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法の知識や語彙力を強化する活動 ・聞き取り練習 ・会話文の作成と発表 ・記事の読解 ・和文仏訳 ・仏検の演習（希望者は仏検受験） ・文学作品の翻訳
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ・中級レベルの読解や仏作文をできるようにする。 ・旅行や留学で使える会話表現をさらに増やす。 ・フランス文化や現代事情について学習し、自ら考えて表現する能力と態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法の知識や語彙力を強化する活動 ・聞き取り練習 ・会話文の作成と発表、スピーチ ・記事の読解 ・和文仏訳 ・仏検の演習（希望者は仏検受験） ・共通テストの演習
	6年	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語文法の基礎を固める。 ・フランス語の運用能力を高める。 ・大学入試に対応できる能力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法の知識や語彙力を強化する活動 ・聞き取り練習 ・スピーチと質疑応答 ・記事の読解 ・自由仏作文 ・仏検の演習（希望者は仏検受験） ・大学入試問題の演習

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語
 科目名 フランス語
 対象 2 学年選択

I 学習到達目標

- 1 挨拶や自己紹介の表現を学び、それを使って初歩的な会話をできるようにする。
- 2 名詞や形容詞の性数、動詞の活用などを学び、フランス語の仕組みを理解する。
- 3 フランスの基本情報、フランス語の歴史、フランス語圏に関する知識を整理した上で、年間行事を通してフランス文化について学習し、他との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う。
- 2 教科書や補助教材を活用し、基礎を固めると共に発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、初歩的な文法事項や会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 『プティ・シュマン（改訂版）』（大塚陽子、白水社、2017年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿題		なし	なし	
	4 5	pp.6-7: アルファベ、出会いの挨拶など Leçon 1 (pp.10-13): 数詞 0~10、注文・依頼する、丁寧な呼びかけなど pp.8-9: 綴りと発音の関係	・フランスの基本情報 ・フランス語の歴史 ・フランス語圏	30	
	6 7 1 学期 期 末 考 査	Leçon 2 (pp.14-17): 誰・何・いくらなのか尋ねる/言う、数詞 11~20 など pp.8-9: 綴りと発音の関係	・学期末試験 ・フランスのアニメ ・フランス文化（ヴァカンス）		
夏休み 宿題			・筆記体でグリーティングカードの試作		
二 学 期	9 10	Leçon 3 (pp.18-21): 職業や身分を尋ねる/言う、受付や窓口で用件を伝える、提示する、数詞 21~30 など pp.8-9: 綴りと発音の関係	・筆記体でグリーティングカードの作成	30	
	10 11 2 学期 期 末 考 査	Leçon 4 (pp.22-25): 好き嫌いを尋ねる/言う、どこ・いくつなのか尋ねる/言う、話せる言語を言う、数詞 31~69 など pp.8-9: 綴りと発音の関係	・学期末試験 ・フランスのゲーム ・フランス文化（ノエル）		
冬休み 宿題					
三 学 期	1 2 3 学期 期 末 考 査	Leçon 5 (pp.26-29): 持っているものやあるものを言う、身体の調子を尋ねる/言う、人にすすめる、数詞 70~100 など pp.8-9: 綴りと発音の関係	・学期末試験 ・フランスの歌 ・フランス文化（イースター） ・絵本の翻訳	19	
				計 78	
評 価	以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験（年に3回） ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト				

教科名 外国語
 科目名 フランス語
 対象 3学年選択

I 学習到達目標

- 1 日付や時刻、待ち合わせの表現などを学び、それを使って日常会話をできるようにする。
- 2 前置詞と定冠詞の縮約、疑問形容詞、様々な不規則動詞の活用などを学び、フランス語の仕組みに対する理解を深める。
- 3 フランスの歴史に関する知識を深め、日常生活を通してフランス文化を学習し、他との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う。
- 2 教科書や補助教材を活用し、基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基本的な文法事項や会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 『プティ・シュマン（改訂版）』（大塚陽子、白水社、2017年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題		なし		
	4 5	Leçon 6 (pp.30-33)：行き先を尋ねる/言う、基本的な前置詞、数詞 101～9999 など pp.8-9：綴りと発音の関係	・フランスの歴史	30	
	6 7 期 末 考 査	1 学期 期 末 考 査 Leçon 7 (pp.34-37)：いつなのか尋ねる/言う、優先する/比較する、日付を尋ねる/言う、月や曜日など pp.8-9：綴りと発音の関係	・学期末試験 ・フランス革命記念日		
夏休み 宿 題		・仏検の演習			
二 学 期	9 10	Leçon 8 (pp.38-41)：意志を尋ねる/言う、天気の状態など pp.8-9：綴りと発音の関係	・フランスの映画	30	
	10 11 期 末 考 査	2 学期 期 末 考 査 Leçon 9 (pp.42-45)：時刻を尋ねる/言う、年齢を尋ねる/言う、主語になる代名詞 on など pp.8-9：綴りと発音の関係	・学期末試験 ・フランスの学校生活		
冬休み 宿 題					
三 学 期	1 2 期 末 考 査	3 学期 期 末 考 査 Leçon 10 (p.47)：交通手段を尋ねる/言う Leçon 11 (p.51)：会う約束をする、時を表す表現 pp.8-9：綴りと発音の関係 プリント教材：レストランでの会話	・学期末試験 ・パリの交通手段 ・フランスの食文化 ・児童書の翻訳	19	
				計 78	
評 価	以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験（年に3回） ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト				

教科名 外国語
 科目名 フランス語 (初中級)
 対象 4 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 中学で学習した文法事項を整理した上で、初中級レベルの読解や仏作文をできるようにする。
- 2 学習者の関心に応じて、旅行や留学で使える会話表現を増やす。
- 3 学習者の関心に応じて、フランス文化について学習し、それについて自ら考えて表現する能力と態度を養う。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 中学より継続してフランス語を学ぶ高校1年生に加え、言語変更を希望する高校1年生も対象とする。
- 2 教科書を活用して基礎を固めると共に、補助教材も導入して発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基本的な文法事項や様々な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 (準教科書) 『プティ・シュマン (改訂版)』 (大塚陽子、白水社、2017年)
 『仏検公式基本語辞典 3・4・5級 新訂版』 (APEF編、朝日出版社、2020年)
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題		なし	なし	
	4 5	Leçon 10 (pp.46-49) : 方法や手段を尋ねる/言う、頻度や期間を表す表現、様々な否定など Leçon 11 (pp.50-53) : 会う約束をする際の表現、時を表す表現、時間に関する前置詞など	・記事の読解	30	
	6 7 1 学期 期 末 考 査	Leçon 12 (pp.54-57) : faire を使った表現、したことを尋ねる/言う、過去の時を表す表現、序数詞など 補足 (pp.8-9) : 綴りと発音の関係	・学期末試験 ・スピーチ ・フランス文化		
	夏休み 宿 題		・単語コンクールの準備 ・仏検の演習		
二 学 期	9 10	Leçon 13 (pp.58-61) : していたことを尋ねる/言う、したかったことを言う、理由を尋ねる/言う、様々な否定、位置を示す表現など 復習や補足 (pp.64-69) : 単純未来形、比較級や最上級、目的語人称代名詞の位置、代名動詞の命令形、中性代名詞、関係代名詞、大過去形、過去分詞の一致、条件法現在形など	・単語コンクール	30	
	11 12 2 学期 期 末 考 査	Leçon supplémentaire (pp.62-63) : メールの手書き方 補足 (pp.8-9) : 綴りと発音の関係 以下、プリント教材 ・指示代名詞 ・強調構文	・学期末試験 ・会話文の作成と発表 ・フランス文化		
	冬休み 宿 題		・仏検の演習		
三 学 期	1 2 3 3 学期 期 末 考 査	3 学期はプリント教材を使用 ・受動態 ・現在分詞、ジェロンディフ ・大過去形、前未来形、条件法過去形 ・代名動詞の複合過去形 ・接続法 ・所有代名詞	・学期末試験 ・会話文の作成と発表 ・文学作品の翻訳	18	
				計 78 (2単位)	
評 価	以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験 (年に3回) ・単語コンクール (年に1回) ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト				

教科名 外国語
 科目名 フランス語 (中級)
 対象 5 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 様々な時制や代名詞を学習し、中級レベルの読解や仏作文をできるようにする。
- 2 学習者の関心に応じて、旅行や留学で使える会話表現をさらに増やす。
- 3 学習者の関心に応じて、フランス文化や現代事情について学習し、それについて自ら考えて表現する能力と態度を養う。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 初中級クラスでフランス語を学んだ高校2年生を対象とする。
- 2 教科書を活用して基礎を固めると共に、補助教材も導入して発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基本的な文法事項や様々な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 (準教科書) 『とことんフランス語 -フランス語文法のレシピ-』 (山崎吉郎他、朝日出版社、2012年)
 『仏検公式基本語辞典 3・4・5級 新訂版』 (APEF編、朝日出版社、2020年)
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題		なし	なし	
	4		Leçon 16 (pp.38-39): 比較級 Leçon 17 (pp.40-41): 最上級	30	
	5		Leçon 18 (pp.42-43): 特殊な優等比較級・優等最上級 Leçon 19 (pp.44-45): 過去分詞、直説法複合過去		
	6 7	1 学期 期 末 考 査	Leçon 20 (pp.46-47): 人称代名詞の種類、補語人 称代名詞の位置 Leçon 21 (pp.48-49): 補語人称代名詞の語順 Supplément 2 (p.50): 人称代名詞強勢形、強調構 文		
夏休み 宿 題			・単語コンクールの準備 ・仏検の演習		
二 学 期	9		Leçon 22 (pp.52-53): 関係代名詞(qui / que) Leçon 23 (pp.54-55): 関係代名詞(dont / où)	30	
	10		Leçon 25 (pp.58-59): 代名動詞 Leçon 26 (pp.60-61): 代名動詞の直説法複合過去 Leçon 28 (pp.64-65): 直説法半過去		
	11 12	2 学期 期 末 考 査	Leçon 30 (pp.68-69): 指示代名詞 Leçon 31 (pp.70-71): 直説法単純未来 Leçon 34 (pp.78-79): 中性代名詞 en Leçon 35 (pp.80-81): 中性代名詞 y / le	・学期末試験 ・スピーチ ・フランス文化や現代事情	
冬休み 宿 題			・仏検の演習		
三 学 期	1	3 学期 期 末 考 査	Leçon 24 (pp.56-57): 受動態 Leçon 29 (pp.66-67): 直説法大過去	18	
	2		Leçon 32 (pp.72-73): 直説法前未来、所有代名詞		
	3		Leçon 36 (pp.82-83): 条件法現在 Leçon 37 (pp.84-85): 条件法過去 Leçon 38 (pp.86-87): 現在分詞、ジェロンディフ Leçon 41 (pp.92-93): 接続法		
				計 78 (2単位)	
評 価	以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験 (年に3回) ・単語コンクール (年に1回) ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト				

教科名 外国語
 科目名 フランス語（上級）
 対象 6 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 今まで学習した文法事項を整理した上で、未習のものを学習し、基礎を固める。
- 2 仏仏辞書を活用しながらフランス語のテキストを読み解き、フランス語の運用能力を高める。
- 3 大学入試問題の演習をして、それに対応できる能力を身につける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 中級クラスでフランス語を学んだ高校3年生を対象とする。
- 2 教科書を活用して基礎を固めると共に、補助教材も導入して発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基本的な文法事項や様々な慣用表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書（準教科書）『とことんフランス語 -フランス語文法のレシピ-』（山崎吉郎他、朝日出版社、2012年）
 『デクリプタージュ [改訂版]』（モーリス・ジャケ、舟杉真一、白水社、2022年）
 『仏検公式基本語辞典 3・4・5級 新訂版』（APEF編、朝日出版社、2020年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題		なし	なし	
	4		『とことんフランス語』 既習の時制の復習 (pp.8-87, pp.92-93)	60	
	5		Leçon 39 (pp.88-89)：直接話法・間接話法(平叙文) Leçon 40 (pp.90-91)：直接話法・間接話法(疑問文、命令文) Leçon 42 (pp.94-95)：接続法の用法(名詞節・形容詞節) Leçon 43 (pp.96-97)：接続法の用法(副詞節・独立節)		
	6	1 学期 期 末 考 査	『とことんフランス語』 既習の代名詞の復習 (pp.8-81) Leçon 15 (pp.36-37)：疑問代名詞(性数の変化をするもの) Leçon 33 (pp.74-75)：関係代名詞(前置詞+qui / 前置詞+lequel) Supplément 3 (p.76)：関係代名詞(前置詞+quoi)	・ 学期末試験 ・ スピーチと質疑応答	
7					
	夏休み 宿 題			・ 単語コンクールの準備 ・ 仏検の演習	
二 学 期	9		『とことんフランス語』 Leçon 44 (pp.98-99)：単純過去	60	
	10		Supplément 4 (p.100)：接続法半過去、接続法大過去 『デクリプタージュ』 Unité 1-6 (pp.6-29)		
	11	2 学期 期 末 考 査	『デクリプタージュ』 Unité 7-12 (pp.32-55)	・ 学期末試験 ・ スピーチと質疑応答	
	冬休み 宿 題			・ 大学入試問題の演習	
三 学 期	1	3 学期 期 末 考 査	総まとめ	・ 大学入試問題の演習	36
	2				
	3				
				計 156 (4単位)	
評 価	以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・ 学期末試験（年に2回） ・ 単語コンクール（年に1回） ・ 授業への参加態度、発表 ・ 提出物、宿題、小テスト				